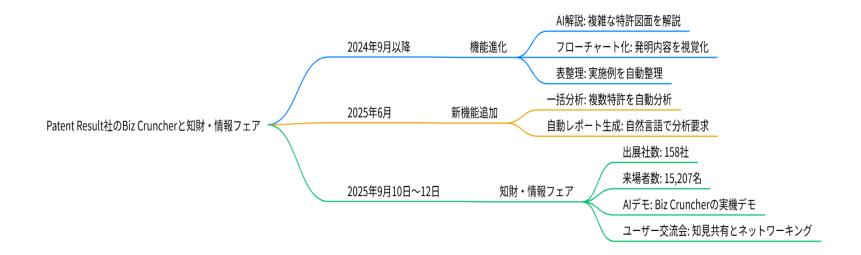
Biz Cruncher の最新機能、「知財・情報フェア&カンファレンス」での Patent Result 社の出展内容

Felo AI



Overview

株式会社パテント・リザルトが提供する特許分析ツール「Biz Cruncher」は、生成 AI の統合により、その機能を飛躍的に進化させている。2024 年 9 月以降、複雑な特許図面の AI 解説、発明内容のフローチャート化、実施例の自動表整理といった革新的な機能を次々と実装し、特許情報の読解と分析にかかる時間を最大 80%削減するなど、業務効率の劇的な改善を実現した 1316。これらの機能は、ユーザーが自然言語で指示するだけで AI エージェントが自律的に分析レポートを生成する高度なアーキテクチャに支えられており、基盤技術として Amazon Web Services (AWS) の Amazon Nova と Claude を戦略的に組み合わせることで、コスト効率と処理性能の両立に成功している 6567。

2025 年 9 月 10 日から 12 日にかけて東京ビッグサイトで開催された「第 34 回 2025 知財・情報フェア&コンファレンス」は、過去最大となる 158 社が出展し、総来場者数 15,207 名を記録する盛況となった 10 49 55。フェア全体が「生成AI」一色に染まる中、パテント・リザルト社は Biz Cruncher の最新 AI 機能の実機デモンストレーションを実施し、多くの来場者の関心を集めた 1 16。さらに、フェア最終日にはユーザー交流会を開催するなど、製品の先進性をアピールするだけでなく、顧客とのエンゲージメント深化にも注力する姿勢を示した 6 47。本レポートでは、Biz Cruncher の最新

動向と、知財・情報フェアにおける同社の活動を詳細に分析する。

詳細レポート

第1章: 特許分析ツール「Biz Cruncher」の進化と生成 AI の統合

Biz Cruncher は、世界の特許情報を検索から分析までシームレスに連携させるプラットフォームであり、国内シェア No.1 を誇る特許分析ツールである $\underline{5} \underline{9} \underline{50}$ 。従来から、出願件数や独自指標「パテントスコア」を用いた量と質の両面からの分析機能を提供してきた $\underline{5} \underline{61}$ 。

知財が、わかる。 知財で、変える。

特許分析ツール国内シェアNo.1 ※自社調査による(2024年5月時点)









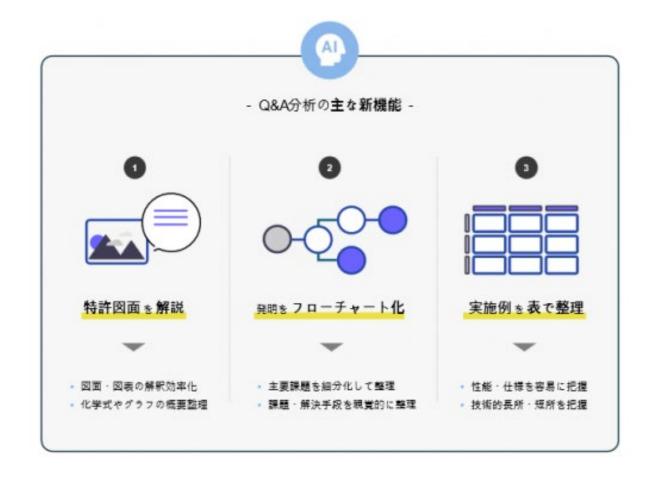
従来の主要な分析機能 Biz Cruncher は、競合比較、市場動向分析、技術ポートフォリオ管理など、多岐にわたる知財戦略策定を支援するための豊富な分析メニューを備えている **261**。

- **権利者スコアマップ**: 競合関係や自社の立ち位置をパテントスコアで可視化する 2。
- キーワードマップ: 特許公報内のキーワードを基に特許群を自動分類し、トレンドの変遷や共起語を抽出する <u>2 14</u> <u>23</u>。
- 課題解決マトリクス: 各社の注力課題や手薄な領域を比較分析し、事業戦略のヒントを探る 2。

• 類似特許マップ: 文書ベクトルに基づき、注目特許の周辺技術を容易に調査できる 2。

生成 AI による機能拡張 (2024 年 9 月以降) 2024 年後半から 2025 年にかけて、パテント・リザルト社は生成 AI を活用した新機能を矢継ぎ早にリリースし、特許分析のパラダイムシフトを加速させている 9 48。

1. Q&A 分析機能の大幅強化 (2024 年 9 月 17 日) 従来の課題であった、複雑な特許公報や図面の読解に要する時間と労力を削減するため、チャット形式で AI に質問できる Q&A 分析機能が大幅に強化された 1 3 16。

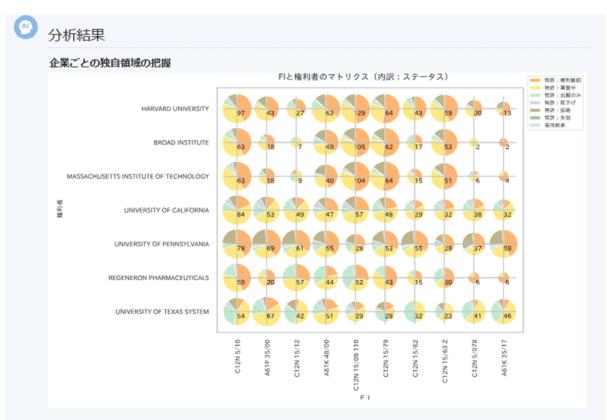


- 図面の AI 解説: 図中の記号や構成要素が持つ意味を AI が自然言語で丁寧に解説する 1316。
- **発明のフローチャート化:** 特許の技術内容を視覚的に理解しやすいフローチャート形式で自動生成する 1316。
- 実施形態の表整理: 画像認識とテキスト解析を組み合わせ、複数の実施例や比較例の特徴を数値情報と共に一覧表に整理する 1316。

これらの機能は、2024年10月に開催された知財・情報フェアで実機操作体験が提供された116。

2. 複数特許・公報群の一括分析機能 (2025 年 6 月) 分析対象を単一の特許から特許群へと拡張し、よりマクロな視点での分析を自動化する機能が追加された 9 32 48。

- 「**まとめて分析」機能 (2025 年 6 月 2 日):** 複数の特許を対象に、AI が一括で分析を行う <u>9 48</u>。当初日本版でリリースされ、同年 9 月 15 日には米国版にも搭載された <u>9 48</u>。
- 「自動分析&レポート生成」機能 (2025 年 6 月 30 日): ユーザーが自然言語で「遺伝子関連分野で最近活躍している企業を特定したい」といった分析要求を入力するだけで、AI エージェントが自律的に分析計画を立案し、Biz Cruncher の各種機能を駆使して分析を実行、最終的なレポートを生成する 9 32 67。



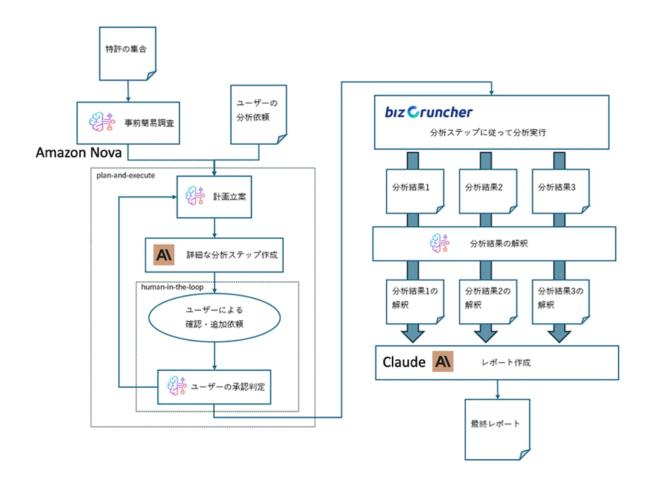
- CRISPR/Cas技術の集中: HARVARD UNIVERSITY、BROAD INSTITUTE、MASSACHUSETTS INSTITUTE OF TECHNOLOGYが、FI:C12N 15/09 110分野で特に強い技術的集中を示しています。
- 抗腫瘍剤分野の専門性: UNIVERSITY OF CALIFORNIAとUNIVERSITY OF PENNSYLVANIAは、FI:A61P 35/00分野で顕著な 特許ポートフォリオを持っています。
- 遺伝子技術の多様性: REGENERON PHARMACEUTICALSはFI:C12N 15/12分野で、動物蛋白質をコードする遺伝子技術に注 力しています。

解説:各企業は特定の技術分野に独自の強みを持ち、それぞれ異なる技術的アプローチを取っていることが明らかになりました。特にCRISPR/Cas技術と抗腫瘍剤の分野で、研究機関ごとに明確な専門性が見られます。

技術的背景: AWS を活用した AI エージェントアーキテクチャ Biz Cruncher の高度な AI 機能は、AWS のサービスを基盤 として構築されている 67。特に、生成 AI モデルとして Anthropic 社の「Claude」と AWS 独自の「Amazon Nova」を戦略的に使い分けることで、高性能と低コストを両立させている 67。

• モデルの使い分け:

- o Amazon Nova: 処理の判断や分岐など、高速性と低コストが求められるシンプルなタスクに使用 67。
- 。 **Claude:** 分析計画の作成や最終的なレポート出力など、高い精度と複雑な文脈理解が要求されるタスクに使用 67。
- **コスト削減効果:** 当初すべて Claude で実装していた AI エージェントの処理を Amazon Nova と組み合わせることで、AI 関連のコストを 80%~88%削減することに成功した 67。
- **セキュリティ:** ユーザーが入力する特許出願前の機密情報などを AI の学習に利用せず、ログも原則保存しない設定 が可能な Amazon Bedrock を採用することで、高いセキュリティを確保している 67。



第2章: 2025年知財・情報フェア&コンファレンスにおける動向

「知財・情報フェア&コンファレンス」は、知財戦略に役立つシステムや情報を集めた国内最大規模の専門展示会である 10 49。 2024 年からは対象を特許・実用新案だけでなく意匠・商標にも拡大している 10 30 49。

イベント概要

項目	詳細	出典
名称	第 34 回 2025 知財・情報フェア&コンファレンス	<u>10 49 51</u>
会期	2025年9月10日(水)~9月12日(金)	<u>10 49 51</u>
会場	東京ビッグサイト 西3・4ホール	<u>10 49 60</u>
主催	発明推進協会,日本特許情報 機構,産経新聞社	<u>10 49 52</u>
出展社数	158 社 (過去最大)	<u>10 49 55</u>
総来場者数	15,207 名	<u>10 49 55</u>

来場者数内訳

日程	天候	来場者数	累計
9月10日(水)	晴れ	3,754名	3,754 名
9月11日 (木)	晴のち雷雨	4,610 名	8,364 名
9月12日(金)	曇	6,843 名	15,207名
*出典: <u>10</u> <u>49</u> *			



フェア全体のトレンド: 生成 AI の席巻 2025 年のフェアは、出展各社がこぞって生成 AI を活用したソリューションを展示し、「AI が知財業務をどう変えるか」が中心的なテーマとなった 284255。特許情報の分類 12、調査・分析 8、明細書作成支援 13 など、知財ライフサイクルのあらゆる場面で AI 活用が提案された。

特に注目を集めたのが、パテント・リザルト社の競合である Patentfield 株式会社である $4 \ 15$ 。同社は「特許を読むから『見る』に体験を変革する」をコンセプトに、生成 AI 調査・分析オプション「Patentfield AIR」を大々的にプロモーションした $4 \ 15$ 。 ブース内セミナーを $1 \$ 時間に $1 \$ 回の頻度で開催し、プレゼンテーションは満員御礼となるなど、大きな存在感を示した $4 \ 15$ 。

第3章: Patent Result 社の知財・情報フェアでの活動

パテント・リザルト社は、この AI 活況のフェアにおいて、Biz Cruncher の具体的な導入効果をアピールすることに注力した。

ブースでの展示と来場者の反応 同社ブースでは、前述の「図面の AI 解説」「発明のフローチャート化」「実施例の表整理」といった最新 AI 機能の実機デモンストレーションが行われた 1。来場者は、複雑な特許文書を AI が瞬時に要約・可視化する様子を体験し、その効率性に高い関心を示した 67。

実際にBiz Cruncher を利用するユーザーからは、「発明の参考になる特許情報を素早く抽出できる」「先行技術調査が簡単になった」といった評価が寄せられており、AI機能が日々の開発業務や知財戦略策定に直接的に貢献していることがうかがえる 2。

ネットワーキングイベント: 『Biz Cruncher 交流会』 パテント・リザルト社は、製品展示だけでなく、ユーザーコミュニティの形成にも力を入れている。フェア最終日の 2025 年 9 月 12 日(金)17 時から、会場である東京ビッグサイトの会議棟にて『Biz Cruncher 交流会』を無料で開催した <u>6 24 47</u>。

このイベントは、既存ユーザーや導入を検討している企業担当者を対象に、知見の共有やネットワーキングを促進することを目的としており、フェア当日の参加申込も受け付けられた <u>6 47 57</u>。製品の機能紹介に留まらず、利用者同士の交流の場を設けることで、顧客との長期的な関係構築を図る戦略が見て取れる <u>27</u>。



第 4 章: Biz Cruncher の価格体系とサポート

Biz Cruncher は、機能や対象国に応じて複数の料金プランを提供している 2。

料金プラン(月額・税抜)

プラン	日本版	米国版	グローバル版
ブロンズ	5万円	5万円	-
シルバー	10 万円	10 万円	-
ゴールド	15 万円	15 万円	-
単一コース	-	-	20 万円
*出典: <u>2</u> *			
			注: 基本機能で月額 30 万円程度という情報もあるが、機能に応じて価格調整が可能とされている 11。

充実したサポート体制 パテント・リザルト社は、ツールの提供に加えて、利用者のスキルアップを支援する多様なサポートプログラムを展開している。

- **各種セミナー:** 操作方法の基本から AI 機能の実践的活用法まで、レベルに応じたセミナーをリアルおよびウェブ形式で随時開催している <u>5 53 68</u>。
- **動画マニュアルサイト: 2025**年3月には、動画で操作方法を学べる『さくさく動画ナビ』をオープンし、利用者の自己学習を支援している<u>948</u>。
- 個別サポート: デモ ID を用いたトレーニングや、ウェブ会議システムを利用した個別説明会も実施しており、ユーザーの疑問点にきめ細かく対応している 63 68。

結論

パテント・リザルト社の「Biz Cruncher」は、生成 AI 技術を深く統合することで、単なる特許検索・分析ツールから、 知財戦略の立案を能動的に支援するインテリジェント・プラットフォームへと進化を遂げた。特に、AWS の最新 AI モデルを駆使したコスト効率の高いアーキテクチャは、持続的なサービス開発と提供における同社の技術的優位性を示してい

る67。

2025年の知財・情報フェア&コンファレンスでは、競合各社が AI 活用を謳う中で、パテント・リザルト社は具体的な業務効率化を示す実機デモと、ユーザーとの直接的な対話を重視する「Biz Cruncher 交流会」の開催を通じて、製品の先進性だけでなく、顧客中心の事業姿勢を強く印象付けた 1647。激化する AI 特許分析市場において、同社は最先端技術の実装と、ユーザーコミュニティの育成という両輪で、今後もリーダーシップを維持していくものと見られる。

- 1. AI 分析 新機能 図面解説・発明をフローチャート化・実施 ...
- 2. 特許分析ツール Biz Cruncher パテント・リザルト
- 3. AI 分析 新機能 図面解説・発明をフローチャート化・実施 ...
- 4. 「2025 知財・情報フェア&コンファレンス」出展のお知らせ
- 5. 特許分析のパテント・リザルト
- 6. 『Biz Cruncher 交流会』開催のお知らせ~2025 知財・情報 ...
- 7. 【アーカイブ】 2024 年 2 月度「AI 技術ツール等による特許文書 ...
- 8. 「2024 知財・情報フェア&コンファレンス」出展のお知らせ
- 9. 特許分析のビズクランチャー (Biz Cruncher)
- 10. 2025 知財・情報フェア&コンファレンス
- 11. パテント・リザルト、特定技術分野の発明者の実力を比較 ...
- 12. 2025 知財・情報フェア&コンファレンスでセミナーを開催し...
- 13. 知財・情報フェア&コンファレンス
- **14**. <u>Biz Cruncher の機能紹介 | 特許分析のビズクランチャー (Biz ...</u>
- **15. Patentfield「2025** 知財・情報フェア&コンファレンス」出展の ...
- 16. AI 分析 新機能 図面解説・発明をフローチャート化・実施 ...
- 17. PatentSight vs Biz Cruncher | 特許のスコアリング手法比較
- 18. 「レポート機能」リリースのご案内サマリアウェビナー・知財 ...
- 19. 日経の IP ランドスケープ記事について考えてみた一特許の量と ...
- 20. 2025 知財・情報フェア&コンファレンスに出展します
- **21**. 来場のご案内 **2025** 知財・情報フェア&コンファレンス
- 22. 知財実務における生成AI利活用に関する特許4件を新たに ...
- **23. Biz Cruncher** の機能紹介 | 特許分析のビズクランチャー (**Biz** ...
- **24**. 『Biz Cruncher 交流会』開催のお知らせ~**2025** 知財・情報 ...
- 25. ウェビナー『基本機能レクチャー&生成 AI 機能 Patentfield AIR ...
- 26. AI 分析 新機能 図面解説・発明をフローチャート化・実施 ...
- **27**. 『Biz Cruncher 交流会』開催のお知らせ~2025 知財・情報 ...

- 28. AI が知財業務を変えることを示した知財・情報フェア
- 29. Intelligent adaptive design JP2010182287A Google Patents
- 30. 2025 知財・情報フェア&コンファレンス
- 31. 生成 AI ツールの再現性と品質のゆくえ~知財情報フェア ... note
- **32**. 特許分析のビズクランチャー (Biz Cruncher)
- 33. AI 分析 新機能 図面解説・発明をフローチャート化・実施 ...
- 34. 「2025 知財・情報フェア&コンファレンス」出展のお知らせ
- 35. 特許庁審査官引用分析を開発 ~ 特許分析ツール「Biz ...
- 36. 2025 知財・情報フェア&コンファレンスに出展します | お知らせ
- **37**. 前回レポート **2025** 知財・情報フェア&コンファレンス
- 38. TW200919210A Adaptive electronic design Google Patents
- **39**. 出展のご案内 **2025** 知財・情報フェア&コンファレンス
- 40. 特許活用を AI が変革。眠れる特許を企業成長の原動力へ ...
- 41. 特許分析ソフト・ツール・サービスの一覧比較
- 42. 知財情報フェア 2025 で感じたこと | AI の熱狂と IP ... note
- 43. 2025 年度イベントカレンダー | 経済産業省 特許庁
- 44. 美國法院判決: 重申只有人類才享有著作權, AI 生成圖片作品不 ...
- 45. 2025 知財・情報フェア&コンファレンスへの出展について
- 46. 2025 知財・情報フェア&コンファレンス (9月 10日 (水) ~9...
- **47**. **『Biz Cruncher** 交流会**』**開催のお知らせ**
br**>**~2025** 知財・情報フェア&コンファレンス最終日**~** | 特許分析のパテント・リザルト
- 48. 特許分析のビズクランチャー (Biz Cruncher)
- 49. 2025 知財・情報フェア&コンファレンス
- **50**. 特許分析のビズクランチャー (Biz Cruncher)
- 51. 2025 知財・情報フェア&コンファレンス
- 52. 2025 年度イベントカレンダー | 経済産業省 特許庁
- 53. 【ウェブ説明会】導入編2: AI による業務効率化と実践的...
- **54. For Visitors** | **2025** 知財・情報フェア&コンファレンス
- 55. AI が知財業務を変えることを示した知財・情報フェア
- 56. AI 分析 新機能 図面解説・発明をフローチャート化・実施 ...
- 57. 『Biz Cruncher 交流会』開催のお知らせ~2025 知財・情報 ...
- 58. 知財情報フェア 2025 で感じたこと | AI の熱狂と IP ...

- 59. 特許技術の強みと弱みを分野ごとに可視化する分析ツールを開発
- 60. 2025 知財・情報フェア&コンファレンスに出展します | お知らせ
- **61. Biz Cruncher** の機能紹介 | 特許分析のビズクランチャー (Biz ...
- 62. 2025 知財・情報フェア&コンファレンスでセミナーを開催し...
- **63**. 特許分析ツール「Biz Cruncher」 トレーニングコース **2013** 年 ...
- **64.** 知財情報フェア **2025** で感じたこと | **AI** の熱狂と **IP** ... **note**
- 65. Amazon Nova を使った特許分析システムの処理コスト最適化
- 66. 2025 知財・情報フェア&コンファレンス | イベント情報 東芝
- 67. Amazon Nova を使った特許分析システムの処理コスト最適化 ~ パテント・リザルトの生成 AI 実装解説 builders.flash☆ 変化を求めるデベロッパーを応援するウェブマガジン | AWS
- 68. 【ウェブ説明会】導入編2: AI による業務効率化と実践的アプローチ | 特許分析のパテント・リザルト